

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

中期教育プログラム

イメージ研究の再構築

ファイナル・コロキウム

2012年2月29日 | 水 |

東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーション・ルーム1

入場無料 | 事前登録不要 | 使用言語：日本語

第1部 14:00-15:30

開会の辞

三浦篤 (「イメージ研究の再構築」事業推進担当者)

美術史と人類学の対話

水野千依著『イメージの地層——ルネサンスの図像文化における奇跡・分身・予言』をめぐって

水野千依 (京都造形芸術大学教授 | UTCP外部協力者)

『イメージの地層』——方法論的視座から

金沢百枝 (東海大学准教授 | UTCP外部協力者)

中世美術と『イメージの地層』の世界

司会 = 小池寿子 (國學院大學教授)

休憩 (15分間)

第2部 15:45-18:30

「イメージ研究の再構築」所属研究員による発表

各20分+質疑応答10分

近藤学 (PD)

ベルクソンによるマティス/マティスによるベルクソン

小泉順也 (PD)

ポール・ゴーガン、没後の肖像画の変奏——芸術家の表象と受容

小澤京子 (PD)

書物としての都市空間——C・N・ルドゥーの『建築書』におけるイメージとテキストの相互関係

安永麻里絵 (元RA・現共同研究員/日本学術振興会特別研究員)

変奏される絵画——エミール・ノルデの宗教画展示試論、1912-1938

司会 = 三浦篤

総合討議 17:45-18:30